

第四次明日香村整備計画の実施状況について (H25.12現在)

(金額単位:千円)

第4次明日香村整備計画における基本的方向	左記の細区分	整備計画本文の該当キーワード	実施主体	事業名	10年間の計画総額(A)	25年度までの実績額累計見込(B)	事業進捗率(%) (B)/(A)	事業の進捗状況		備考
								アウトプット(完了事項、達成事項等)	アウトカム(現時点での計画に対する評価)	
(1) 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進	ア 歴史展示の拠点施設整備	万葉文化館の再整備	奈良県	歴史展示拠点施設整備	500,000	475	0.1%	万葉文化館のリニューアル事業は着手していないが、館には万葉の世界を体験できる展示や飛鳥池工房遺跡の発掘成果を時代背景と共に紹介する展示、出土遺構の復元展示など、既存施設として明日香の歴史を伝える機能も併せ持っている。また、平成25年度から「歴史」をテーマとした講座を毎月開催し、明日香にまつわる歴史上の人物や出来事にスポットをあてた講座も実施している。美術品の展示では、談山神社の祭神である藤原鎌足の生涯など多武峰の縁起を表した「多武峰縁起絵巻」の特別公開も実施した。一方、シーズンには、館内に観光コンシェルジュを配置し観光振興の拠点として、地域の観光振興強化の取組も行っている。	万葉文化館は現在の機能を維持し、中中和地域の総合文化拠点施設として運営しているため、歴史展示拠点施設整備のリニューアルに着手していないが、明日香の歴史を紹介する既存施設のほか、平成25年度からは「歴史」をテーマにした講座の開催や、明日香の歴史と深いつながりを持った美術品の展示を実施している。このように来訪者にとって魅力的で、地域住民から親しみやすい文化施設を目指し館運営に取り組んでいる。	
					小計	500,000	475	0.1%		
	イ 遺跡の整備	飛鳥京跡苑池	奈良県	飛鳥京跡苑池整備公有化等	446,401	402,801	90.2%	史跡の公有化は、史跡全体の88%を公有化したことで、今後の整備事業着手に、目途を立てた。発掘調査については、整備を行う南池の調査をほぼ終了した。	当初、難航していた用地取得については、整備に向けた主要な部分を確保できた。発掘調査により復元整備のために必要な遺跡の情報を得ることができた。	
				飛鳥京跡苑池整備事業(苑池本体)	733,000	65,320	8.9%	・平成24年11月に史跡・名勝飛鳥京跡苑池保存整備・活用検討委員会を設置 ・基本計画の作成(整備手法として、南池遺構は復元整備、北池・水路遺構は遺構表示)	遺構の保存と活用について十分な検討を行ったうえで、事業に取り組んでいるところ。	
				飛鳥京跡苑池整備事業(河川)	80,000	0	0.0%	苑池復元整備の基本的な構想が定まっていなかったため未実施。		
		牽牛子塚古墳・真弓罐子塚古墳・飛鳥浄御原宮正殿等	明日香村	史跡地買収事業	57,000	1,260	2.2%	牽牛子塚古墳等整備基本構想策定(H25年度) 牽牛子塚古墳 史跡追加指定11,160.8㎡(H25年度)	牽牛子塚古墳については、史跡指定が拡大されるとともに、指定により適切な文化財の保存が図られることが期待される。また、世界遺産を目指す「飛鳥・藤原」の構成資産の一つであることから、史跡追加指定したことにより、公有化(買収)・整備事業の進捗が担保され世界遺産登録に対する効果(好影響)が期待される。	
				史跡地整備事業	64,000	0	0.0%	史跡地買収の段階であり整備は未実施		
		小計	1,380,401	469,381	34.0%					
	ウ 寺院・遺跡等における歴史展示	現地における解説	奈良県	歴史展示解説板	8,675	0	0.0%	事業未着手	当初の計画は、世界遺産登録推進の過程において解説板を設置するということがあった。しかし、推薦内容、構成資産の確定に向けた検討の中で内容の変更や構成資産の増減などのリスクを勘案すると、ある程度内容が固まった段階で具体的な解説板の設置に向けた検討を本格化すべきである。	
				歴史展示解説板	7,060	7,959	112.7%	携帯端末を活用した歴史展示コンテンツの制作・普及	明日香における歴史展示手法は、携帯端末を活用して展開	
		小計	15,735	7,959	50.6%					
	エ 埋蔵文化財の計画的発掘調査の推進	計画的な発掘調査	奈良県	遺跡範囲確認調査	72,000	7,848	10.9%	調査事業により飛鳥京跡の範囲や概要が徐々にではあるが、判明してきている。	徐々にではあるが、着実に調査は進んでいる。	
				明日香村	遺跡範囲確認調査	300,000	95,886	32.0%	平成22年度～平成24年度までの発掘調査実績 飛鳥西方遺跡 794㎡ 川原寺裏山遺跡 42㎡ 牽牛子塚古墳・越塚御門古墳 192㎡ 住宅等の開発 362㎡ その他公共事業 3,253㎡ 各発掘調査における現地見学会・現地説明会を開催(毎年)	毎年度計画的な範囲確認調査及び緊急調査に対応しており、文化財の適切な保存と歴史的価値の証明がなされている。発掘に係る作業員に村民を雇用することで、村内での雇用を創出した。村内小学生を対象とした発掘体験を実施し、文化財に対する重要性の認識を向上させている。
		小計	372,000	103,734	27.9%					
						2,268,136	581,549	25.6%		

第四次明日香村整備計画の実施状況について（H25.12現在）

（金額単位：千円）

第4次明日香村整備計画における基本的方向	左記の細区分	整備計画本文の該当キーワード	実施主体	事業名	10年間の計画総額(A)	25年度までの実績額累計見込(B)	事業進捗率(%) (B)÷(A)	事業の進捗状況		備考
								アウトプット(完了事項、達成事項等)	アウトカム(現時点での計画に対する評価)	
(2) 歴史的風土の維持・向上	ア 明日香村に相応しい景観の形成	景観に対する配慮	-	-						
		小計				0	0	-		
	イ 景観阻害要因の改善	明日香らしい景観の創出	明日香村	にぎわいの街集落環境整備事業	462,000	238,738	51.7%	平成22年度 無電柱化実施設計 平成23・24年度 地中管理設工事 平成25年度 個人宅引き込み管の連携柱の整備 電線共同溝台帳整備	平成26年度 各事業者電線導入線、既設電柱抜柱、美舗装により事業完了予定である。	
			奈良県	無電柱化推進事業	370,000	17,744	4.8%	継続的に事業推進に努める。	継続的に事業推進に努める。	
		行政の積極的な対応	奈良県	景観阻害物件除去事業	10,000	28,435	284.4%	長年の懸案となっていた景観阻害物件が除却出来た。	景観阻害物件の除却と歴史的風土保存施設の整備を併せて一つの事業であるが、整備(植栽・駐輪場)についてはH26年度中に完了の予定。	
		小計				842,000	284,917	33.8%		
	ウ 古都保存法の買入地の適正管理	古都法に基づく買入れと管理	奈良県	土地買入及び管理	-	-	-	古都法買入地は、H24年度末現在、明日香村全体で約61haとなっている。その約1/3(18ha)が飛鳥宮跡地区で、約2/3(43ha)が明日香2種地区である。村の行政面積2,404haの約2.5%が古都法買入地となっている。管理については、年2回の草刈及び樹木剪定を実施している。	買入については、順調に進んでいる。管理については、現在のところ、必要なところは手入れできている。	
		地域の実情に応じた管理活用	奈良県	歴史的風土保存景観整備事業	90,000	35,836	39.8%	地元要望により、必要な箇所については順次整備できている。	地元要望を事業化しているため、整備後の施設はうまく活用されている。	
		小計				90,000	35,836	39.8%		
						932,000	320,753	34.4%		

第四次明日香村整備計画の実施状況について（H25.12現在）

（金額単位：千円）

第4次明日香村整備計画における基本的方向	左記の細区分	整備計画本文の該当キーワード	実施主体	事業名	10年間の計画総額(A)	25年度までの実績額累計見込(B)	事業進捗率(%) (B)/(A)	事業の進捗状況		備考	
								アウトプット(完了事項、達成事項等)	アウトカム(現時点での計画に対する評価)		
(3) 歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上	ア 地域産業としての農林業の充実	農業基盤整備	奈良県	農地環境整備事業	500,000	203,250	40.7%	文化財調査をH22～25に実施し、H24年度から阿部山におけるほ場整備工を施工中。H25年度より鳥獣害防止柵の設置に着手。	耕作放棄地の解消のため、ほ場整備や、鳥獣害防止柵等を設置。老朽化した用排水路の改修を行い、効率的な営農環境の整備を図る。		
		森林整備	明日香村	森林整備推進事業	237,300	36,991	15.6%	間伐82.4ha、下刈 0.53ha、抜伐 5.96ha 枝打 1.80haを実施。	森林保有者との折衝を図りながら、森林環境保全及び林業基盤を維持するための施策を実施しており、低迷期にある林業の再生に向けて、大きく効果を上げている。		
	イ 耕作放棄地等への対応	6次産業化の推進による担い手の所得と意欲の向上	明日香村	農林商工産物施設整備事業	168,500	0	未開始期間	現在、「あすか夢の楽市」として既存施設を活用し、実験運営を行っている。			
			明日香村	農商工親連携拠点施設整備事業	276,500	254,154	91.9%	平成25年度施設設置。指定管理により運営開始。	平成25年7月オープン		
			明日香村	環境保全型農業	81,000	0	未開始期間	今後、施設のあり方や候補地の検討を行っていく。			
	ウ 都市住民との交流推進	施設等の整備	明日香村	交流型農業推進事業(稲刈・阪田地区)	321,500	125,130	38.9%	平成24年度 阪田地区(2.3ha)基盤整備事業完了。	圃場整備をきっかけとして、阪田地区では、クラインガルテンの検討など活発な議論が行われている。		
			明日香村	交流型農業推進事業(真弓・地ノ窪地区)	76,500	1,200	1.6%	平成26年度より実施予定。			
			明日香村	交流型農業推進事業(橋地区)	100,000	0	0.0%	未実施			
			明日香村	神奈備の郷活性化事業	603,500	0	0.0%	県河川整備の進捗を見ながら地元との再調整を行っていく。			
	小計					2,364,800	620,725	26.2%			
	② 観光・交流の振興	ア 明日香の魅力発信	飛鳥まるごと図書・資料館整備	明日香村	飛鳥まるごと図書・資料館整備	30,000	0	未開始期間	今後、機能や整備に向けた検討を実施		
			村内外への観光情報発信機能の強化	奈良県	歴史展示拠点施設整備	500,000	475	0.1%	万葉文化館のリニューアル事業は着手していないが、館には万葉の世界を体験できる展示や飛鳥池工房遺跡の発掘成果を時代背景と共に紹介する展示、出土遺構の復元展示など、既存施設として明日香の歴史を伝える機能も併せ持っている。また、平成25年度から「歴史」をテーマとした講座を毎月開催し、明日香にまつわる歴史上の人物や出来事にスポットをあてた講座も実施している。美術品の展示では、談山神社の祭神である藤原鎌足の生涯など多武峰の縁起を表した「多武峰縁起絵巻」の特別公開も実施した。一方、シーズンには、館内に観光コンシェルジュを配置し観光振興の拠点として、地域の観光振興強化の取組も行っている。	万葉文化館は現在の機能を維持し、中南和地域の総合文化拠点施設として運営しているため、歴史展示拠点施設整備のリニューアルに着手していないが、明日香の歴史を紹介する既存施設のほか、平成25年度からは「歴史」をテーマにした講座の開催や、明日香の歴史と深いつながりを持った美術品の展示を実施している。このように来訪者にとって魅力的で、地域住民から親しみやすい文化施設を目指し館運営に取り組んでいる。	(再掲)
				明日香村	(仮称)世界遺産センター	205,000	0	未開始期間	世界遺産登録に向け、活動を行っている段階である。世界遺産登録に目途がついた時点で、再検討を行う。		
		国際観光への対応	奈良県	観光案内板等整備事業	130,000	72,840	56.0%	明日香村内において図解標識を7基設置済み	近畿地方整備局では、キトラ古墳周辺地区の平成28年度開園に向け、整備が行われているところ。現在、関係機関(近畿地方整備局、奈良県、明日香村、橿原市、高取町等)が連携し、飛鳥の景観と調和し、飛鳥地方の観光周遊につながるサイン計画の策定に向けて検討中。		
			明日香村	観光案内板等整備事業	33,000	2,500	7.6%	新規案内板 設置 2基 既存案内板 修繕 17基 既存案内板 撤去 3基	観光案内板を適所に設置・管理することで、来訪者に対して安心・安全の周遊観光を提供している。		
		イ 観光基盤の整備	観光周遊ネットワークの整備	奈良県	県道 桜井明日香吉野線(石舞台)	450,000	13,900	3.1%	・古都風致審議会にて承認を得た計画を基に、埋蔵文化財の試掘調査の実施中及び関係機関との協議中。	景観に配慮した道路整備及び明日香のまちづくり・観光施策との連携が図られる	
				奈良県	県道 桜井明日香吉野線(小原～島庄)	400,000	0	未開始期間			
				奈良県	県道 多武峰見瀬線	520,000	8,056	1.5%	・古都風致審議会にて報告した計画を基に、設計検討中及び関係機関との協議中。	景観に配慮した道路整備及び明日香のまちづくり・観光施策との連携が図られる	
				奈良県	県道 野口平田線	51,000	103,528	203.0%	バイパス区間L=270mを平成24年4月26日に供用開始し、全体事業区間をすべて供用した	当初の予定通り全体事業区間を供用した	
			自転車・歩行空間の整備等	奈良県	自転車歩行車道整備(県道多武峰見瀬線)	35,000	4,485	12.8%	自然色舗装等を実施し、当初計画箇所は完了。	野口平田線バイパス事業と併せて、移動空間を確保。	
ウ にぎわいの拠点形成	街並み修景	明日香村	にぎわいの街集落環境整備事業	462,000	238,738	51.7%	平成22年度 無電柱化実施設計 平成23・24年度 地中管理設工事 平成25年度 個人宅引き込み管の連携柱の整備 電線共同溝台帳整備	平成26年度 各事業者電線導入線、既設電柱支柱、美舗装により事業完了予定である。	(再掲)		
		奈良県	無電柱化推進事業	370,000	17,744	4.8%	継続的に事業推進に努める。	継続的に事業推進に努める。	(再掲)		
エ 宿泊観光の推進	農村体験宿泊交流施設	明日香村	神奈備の郷活性化事業	603,500	0	0.0%	県河川整備の進捗を見ながら地元との再調整を行っていく。		(再掲)		
小計					3,789,500	462,266	12.2%				
					6,154,300	1,082,991	17.6%				

第四次明日香村整備計画の実施状況について (H25.12現在)

(金額単位:千円)

第4次明日香村整備計画における基本的方向	左記の細区分	整備計画本文の該当キーワード	実施主体	事業名	10年間の計画総額(A)	25年度までの実績額累計見込(B)	事業進捗率(%) (B)/(A)	事業の進捗状況		備考		
								アウトプット(完了事項、達成事項等)	アウトカム(現時点での計画に対する評価)			
(4) 生活環境基盤整備の推進	ア 道路の整備		明日香村	都市計画道路 桧前線	809,000	0	0.0%	市街化空閑地の活用検討の中で地元住民と協議中。				
			奈良県	県道 桜井明日香吉野線(石舞台)	450,000	13,900	3.1%	・古都風致審議会にて承認を得た計画を基に、埋蔵文化財の試掘調査の実施中及び関係機関との協議中。	景観に配慮した道路整備及び明日香のまちづくり・観光施策との連携が図られる	(再掲)		
			奈良県	県道 桜井明日香吉野線(小原～島庄)	400,000	0	未開始期間			(再掲)		
			奈良県	県道 多武峰見瀬線	520,000	8,056	1.5%	・古都風致審議会にて報告した計画を基に、設計検討中及び関係機関との協議中。	景観に配慮した道路整備及び明日香のまちづくり・観光施策との連携が図られる	(再掲)		
			奈良県	県道 野口平田線	51,000	103,528	203.0%	バイパス区間L=270mを平成24年4月26日に供用開始し、全体事業区間をすべて供用した	当初の予定通り全体事業区間を供用した	(再掲)		
			明日香村	村道 地ノ窪線	968,000	123,113	12.7%	用地買収A=4,329㎡、工事延長L=606mが完了。用地買収を行いながら事業を継続して実施。				
			奈良県	自転車歩行車道整備(県道多武峰見瀬線)	35,000	4,485	12.8%	自然色舗装等を実施し、当初計画箇所は完了。	野口平田線バイパス事業と併せて、移動空間を確保。	(再掲)		
			小計				3,233,000	253,082	7.8%			
	イ 河川の整備		奈良県	飛鳥川 神奈備の郷・川づくり事業	1,065,000	468,000	43.9%	平成25年度時点では、遊水部2箇所について整備完了。今後は、下流の多自然護岸工に着手予定。整備が完了した箇所より順次、植栽を実施予定。	当初計画に記載している遊水部の整備は完了。今後、奥飛鳥の風土にふさわしい水辺の保全・創出等の河川環境の整備を進める。			
			奈良県	飛鳥川 河川改修	60,000	0	未開始期間					
			奈良県	戒外川河川改修	30,000	0	0.0%	—	下流部の整備後に事業実施するべく開始時期を変更			
			奈良県	平田川河川改修	60,000	27,226	45.4%	平成25年度時点では、河川の護岸詳細設計及び最下流の取水井堰の設計が完了。ハード施策として、平成26年度に最下流の取水井堰を整備予定。	流下能力の向上による浸水被害の軽減と、周辺景観との調和に配慮し引き続き河川改修を実施する。			
			小計				1,215,000	495,226	40.8%			
	ウ 上水道、下水道の整備		明日香村	公共下水道事業	50,000	31,957	63.9%	160.87ha/205.14ha(整備面積/事業認可面積)となっており、約78%が整備済(平成24年度末)	下水道普及率は5,533人/5,909人(供用開始可能人口/全体人口)となっており、普及率93.6%と奈良県普及率76.1%を超えて高い水準にある。(平成24年度末) 水洗化率は4,779人/5,533人(水洗化人口/共用開始可能人口)となっており、水洗化率86.4%と奈良県水洗化率89.7%とほぼ同水準にある。(平成24年度末)			
			明日香村	特定環境保全公共下水道事業	1,190,000	362,946	30.5%	99.61ha/133.91ha(整備面積/事業認可面積)となっており、約74%が整備済(平成24年度末)	下水道普及率は5,533人/5,909人(供用開始可能人口/全体人口)となっており、普及率93.6%と奈良県普及率76.1%を超えて高い水準にある。(平成24年度末) 水洗化率は4,779人/5,533人(水洗化人口/共用開始可能人口)となっており、水洗化率86.4%と奈良県水洗化率89.7%とほぼ同水準にある。(平成24年度末)			
			明日香村	下水道耐震及び管渠更新事業	182,000	28,692	15.8%	長寿命化計画策定(H23年度)耐用年数20年を経過している管渠2,027mのカメラ調査を実施(平成23年度)調査結果により判明した、修繕必要箇所81.5m/2,027mについて更生整備	災害時等の管渠破損を未然防止することで、公衆衛生の維持に寄与している。			
			明日香村	基幹水道構造物の耐震化及び更新事業	479,000	311,802	65.1%	配水池築造 A=1,605㎡ V=1,500㎥	緊急遮断弁を設置した高機能の配水池とすることで、災害時の備蓄水量が確保されたとともに、老朽化を改善したことで、安定的な水道供給を実現し、ライフラインを確保している。			
			明日香村	合併処理浄化槽設置事業	32,200	2,549	7.9%	(平成22年度～平成24年度)3基/46基(計画設置数)	水質環境保全に向けた意識向上が大きく図れなかったものの、一定数の設置により水質環境保全が図られている。			
			明日香村	簡易水道再編推進事業	105,180	107,269	102.0%	配水管 L=217.4m/430m(計画延長)加圧ポンプ 6基/9基(計画設置数)平成23年度に事業終了	簡易水道施設の老朽化に対応し、地域住民の生活用水を確保しており、安心安全の住環境を創出 奥飛鳥における宿泊施設設置に向けて、必要となる安定的なライフラインを確保しており、今後の取り組みの基盤を形成している。			
			小計				2,038,380	845,215	41.5%			
			エ 都市公園の整備		明日香村	明日香村近隣公園	800,000	644,890	80.6%	平成25年度事業完了。 多目的広場 A=9,500㎡ ニュースポーツ広場 A=2,500㎡ テニスコート A=1,300㎡ ゲートボール場 A=500㎡	村民がスポーツに親しみ楽しみながら健康づくりができる、村全体を視野にいれたスポーツ・健康増進・生涯学習の発展に寄与している	
	小計				800,000	644,890	80.6%					

第四次明日香村整備計画の実施状況について（H25.12現在）

（金額単位：千円）

第4次明日香村整備計画における基本的方向	左記の細区分	整備計画本文の該当キーワード	実施主体	事業名	10年間の計画総額(A)	25年度までの実績額累計見込(B)	事業進捗率(%) (B)÷(A)	事業の進捗状況		備考	
								アウトプット(完了事項、達成事項等)	アウトカム(現時点での計画に対する評価)		
	オ 消防施設等の整備		明日香村	消防施設整備事業(防火水槽)	68,000	18,896	27.8%	4箇所を設置	有事の際の初期消火及び広域消防による消火活動の後方支援に効果を発揮		
			明日香村	消防機器購入	51,000	18,585	36.4%	消防ポンプ車1台、軽四輪小型可搬ポンプ車1台の整備	老朽化に対応し、計画的に設備の更新を行っている。防火啓発の実施、初期消火や消防後方支援に効果を発揮している。		
			明日香村	防災行政無線整備事業	380,000	7,770	2.0%	平成26年度にデジタル化に更新する予定。			
			明日香村	防災拠点施設整備	65,000	0	0.0%	現在、役場本庁舎の耐震診断を実施しており、その結果をもって、事業を再検討する予定			
			小計			564,000	45,251	8.0%			
	カ 厚生施設の整備		明日香村	健康福祉センターリニューアル事業	200,000	0	0.0%	センター機能を維持するために不可欠な設備については更新を図りつつ、検討会を設置し、機能の再構築について検討を行う			
			明日香村	クリーンセンター更新事業	343,000	121,415	35.4%	大規模改修を行うのではなく、小規模な改修工事を継続的に実施			
			小計			543,000	121,415	22.4%			
	キ 教育施設の整備		明日香村	幼・小・中一貫教育推進事業	308,700	79,097	25.6%	一貫教育推進委員会を中心に、言語力部門・英語部門・郷土学習部門など、各部門を設置し、それぞれの目標を設定し、一貫教育を推進している。	一定のカリキュラムがそれぞれの分野で定められ、一貫教育の実施により幼稚園から中学校卒業までの連続性のある教育が一部実現されている。		
			奈良県	明日香養護学校施設整備事業	68,870	69,894	101.5%	明日香養護学校において耐震化が必要な3棟のうち、2棟の補強工事を行った。	平成27年度完了を目指し、残る1棟の改築工事の準備を進めているところ。		
			明日香村	飛鳥まるごと図書・資料館整備	30,000	0	未開始期間	今後、機能や整備に向けた検討を実施		(再掲)	
			小計			407,570	148,991	36.6%			
						8,800,950	2,554,070	29.0%			

総合計(再掲分を除く)

14,733,886	4,152,437	28.2%
------------	-----------	-------